

ポートフォリオ作成のための 4つのレイアウト基本原則

近接

Proximity

互いに関連する項目は、ひとつのグループとしてみせるようにまとめるべきである。

いくつかの項目が互いに近接しているとき、それらはバラバラな要素としてではなく、ひとつのまとまりとして認識される。即ち、情報を構造化して混乱を軽減することができる。

整列

Alignment

ポートフォリオでは、全てのものを意図的に配置しなければならない。配置されるものに対して、ベースラインを見せることによって、あらゆる要素に他との何らかの視覚的な関係を持たせることが必要である。

繰返し

Repetition

色、形、質感、位置関係、線の太さ、サイズなどの視覚的要素を、全体を通して繰り返すこと。これは、要素を体系的にまとめ、関連のあるものどうしのつながりを強化する役割を持つ。

コントラスト

Contrast

コントラストとは、紙面上での要素を単純に他と似せてしまうのを避けることを意味する。

もし、要素(書体、サイズ、色、形、空間など)が同じでないならば、その違いをはっきりさせることにより、構成する上でのもっとも重要な視覚的吸引力となる。